

委託事業実施内容報告書

平成21年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【ボランティアを対象とした実践的研修】

受託団体名 財団法人 神戸キリスト教女子青年会

1 事業の趣旨・目的

この講座はすでに日本語ボランティアの経験がある人たちのスキルアップを目指す。日本語を教えることは、それを始める前にはイメージできない部分が大きく、たとえ事前に指導法の講座を受けていたとしても、実際にはうまくいかないことが多く生じる。これは単なるスキルの問題というよりも、本質的な考え方において理解ができていない場合が多い。この講座では、ボランティアを始めてから、改めて指導法の講座を受けるとより理解が深まることを考え、ボランティアの経験者を対象に行うことにした。

具体的には、単なるスキルの伝達にとどまらず、どのレベル、どんな外国人学習者にでも応用ができる日本語指導法の考え方を学ぶ。それをもとに、見学や実習を行い、さらに実際に教えている授業への講師のアドバイスを受ける。このことにより、講座が単なる示唆にとどまらず、実際の授業までつながることを目指した。

この講座は神戸YWCAが存在する神戸市ではなく、三木市国際交流協会のある三木市に場所を移して行った。三木市では、このような見学や実習、および実際の授業へのアドバイスを含む内容の講座を受ける機会がなかなかない。国際交流協会、及び日本語ボランティア教室と連携、日本語教師の基礎的な知識（420時間）を修了した三木国際交流協会で活動しているボランティアを講義補助者や運営委員として起用することにより、その地域で教えるボランティアの意識の変化を促し、その地域におけるボランティア活動の活性化を目指した。

2 運営委員会の開催について

【概要】※神戸YWCA 学院非常勤講師・スタッフはすべて本務外勤務。

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
5月1日	神戸YWCA 学院	斎藤明子 奥未知留 田庭里恵 掛橋智佳子 福井武司	カリキュラム、広報	・カリキュラムの検討。 ・募集に係る広報について。ちらし作成その他。
5月17日	三木国際交 流協会	斎藤明子 田庭里恵 奥未知留 掛橋智佳子 河越恭子	全体確認、実行準備	・募集状況の確認 ・カリキュラムの確認 それに伴う現場での準備 について。

6月7日	神戸YWCA 学院	西岡美幸 斎藤明子 奥未知留 田庭里恵 掛橋智佳子 福井武司	講座内容の確認及び 運営の確認	・講座期間の具体的な動き及び運営面について話し合う。 ・講座内容の確認作業。
10月5日	三木市国際 交流協会	斎藤明子 西岡美幸 河越恭子 奥未知留 掛橋智佳子 田庭里恵	振り返り	講座内容について、受講者側からの反応、意見について討議。また運営方法についても振り返った。
10月29日	神戸YWCA 学院	福井武司 奥未知留 田庭里恵 斎藤明子 掛橋智佳子	振り返り	日本語教師側から見た運営について、アンケート結果を元に振り返った。 今後の展開について討議。

3 養成講座の内容について

(1) 養成講座名(ボランティアを対象とした実践的研修)

日本語ボランティアのためのスキルアップ講座

(2) 養成講座の目標

- ・このコースは、日本語指導法の考え方を見直してることから入り、個々のボランティアの現在の教え方への内省を導くことを目標とした。
- ・コース全体は、3部で構成され、単に講座を聞いて終わるのではなく、実際の授業に結びつくことを目的としたカリキュラムが組み立てた。

具体的には、講義、講師による授業の見学、実習、及び実際にボランティアが行っている授業を講師が観察をして、アドバイスを行うこと、また受講者同士の内省、工夫などの共有などである。

講義で取り上げたレベルは、講義・見学・実習は主にゼロ初級、初級前期など。また、子供の日本語の教え方、在留外国人の社会的背景なども含む。そして、ボランティア経験の長いゲストによるティーチインを通じて、問題にぶつかった時の解決方法などを考える。

このようなさまざまなアプローチから、ボランティアの教えるための意識の変革を求め、それを受講者で共有することを目標とした。

(3) 受講者の総数 17 人

(4) 開催時間数(回数) 39 時間 (15 回)

(5) 参加対象者の要件

日本語ボランティア経験者

(6) 受講者の募集方法

- ・ 三木市国際交流協会のネットワークにより以下の団体及び地域への募集を行った。
三木市、小野市等近隣の国際交流協会、神戸市北区、西区ボランティア団体
- ・ 三木市広報紙による募集。
- ・ 神戸YWCAより神戸市の各ボランティア教室への募集。
- ・ ホームページによる募集

(7) 研修会場

三木市国際交流協会

(8) 使用した教材・リソース

みんなの日本語初級 I

みんなの日本語初級 I 翻訳・文法解説書 各国語版

みんなの日本語初級 I 導入・練習イラスト集

みんなの日本語 I C D

クラス活動集 1 0 1

絵でマスター にほんご基本文型 8 5

みんなの日本語 I 絵カード

にほんご宝船

にほんご おしゃべりのたね

教え方キット

教科につながる学習語彙・漢字ドリル (中国語版)

読むトレーニング 基礎編、応用編

にほんごこれだけ! 1

初級から中級への日本語ドリル 文法、語彙

H 2 1 年度第 2 回 日本語能力試験 1・2 級 試験問題

H 2 1 年度第 2 回 日本語能力試験 3・4 級 試験問題

日本語能力試験 N 2 / N 3 語彙対策標準テキスト

日本語能力試験 N 2 / N 3 文法対策標準テキスト スーパー

BASIC KANJI BOOK VOL.2

新試験対応 耳から覚える N 2 文法トレーニング

新試験対応 日本語能力試験 予想問題集 N 2

中級を学ぼう 日本語の文型と表現 5 6 中級前期 他

(9) 講座内容

	日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
1	6月8日(火) 1:00～4:00	オリエンテーション 日本語の考え方の確認	神戸女学院大学 斎藤明子	14
2	6月15日 1:00～4:00	初日の授業 授業の流れと教案(1)	神戸女学院大学 斎藤明子	16
3	6月22日 1:00～4:00	演習 授業の流れと教案(2)	神戸女学院大学 斎藤明子	15
4	6月29日 1:00～4:00	ティーチイン(運営及び心 構え)	KFC ボランティア 高橋博子 神戸YWCA学院 小澤恭子	15
5	7月6日 1:00～4:00	在留外国人の背景について 知る。意識を変える。	多文化共生センター 北村広美	13
6	7月13日 1:00～4:00	演習 授業の流れと教案(3)	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 田庭里恵	16
7	7月20日 1:00～4:00	子供の日本語の教え方	生田中学 JSL 教室 大和田邦子 神戸女学院大学 斎藤明子	17
8	7月26日 7:00～9:00	「みんなのにほんごⅠ」 授業見学 話し合い ＊学習者は三木市国際交流 協会で学んでいる外国人。	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 奥 未知留	15
9	8月2日 7:00～9:00	受講者による演習 講評と結果の共有	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 田庭 里恵	12
10	8月9日 7:00～9:00	受講者による演習 講評と結果の共有	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 奥 未知留	15
11	8月23日 7:00～9:00	受講者による演習 講評と結果の共有	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 田庭里恵	13

12	8月30日 7:00～9:00	受講者による演習 講評と結果の共有	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 奥 未知留	14
13	9月13日 6:30～9:00	実際の教室活動への指導と アドバイス	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 奥 未知留	10
14	9月27日 6:30～9:00	実際の教室活動への指導と アドバイス	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 奥 未知留	13
15	10月5日 1:00～4:00	まとめ 講座で学んだ内容の確認 意識化されたことの共有	神戸女学院大学 斎藤明子 神戸YWCA学院 奥 未知留	13

(10) 講座の評価

① 受講生に対するアンケート

添付資料参照

② 実施主体からの研修内容結果評価

- ・ この講座は神戸YWCAが存在する神戸市ではなく、三木市国際交流協会のある三木市に場所を移して行った。三木市交流協会、及び日本語ボランティア教室と連携することにより、その地域に密着した講座を行うことができた。その結果、地域全体の日本語ボランティア事業の活性化が図れた。ボランティア個人個人が参加する形式の講座ではなく、その地域のボランティア教室ぐるみで行う講座方式は、地域全体を巻き込み非常に効果が高いと言えるだろう。
- ・ ボランティアの意識の変化が現れ、教え方が違ってきた。言葉を教えることのゴールが意識できるようになったことにより、学習者との生き生きとした談話が増え、明るくなった。
- ・ 実際に教室で教えている学習者を対象とした数回の演習により、学習者と各ボランティアとの結びつきが太くなった。担当者のみではなく、参加した全てのボランティアが学習者を知り、声をかける関係になった。
- ・ いろいろな教材を知り、それを活用する意味を学んだ。そして、より効果的な教え方が習得できた。そして、学習者のための自律学習への道筋も考える機会になった。
- ・ ボランティア同士で経験を共有し、ともに学びあう姿勢が生まれ、連携ができるようになった。一人で悩まずともに相談できる関係ができていった。そして、スキルを学ぶだけではなく、運営に携わろうとする意識が出てきた。自分たちで

問題点を見据え洗い出し、今後外国人支援はどうすればよいかを考え始めた。

・神戸YWCAとしては、一つの地域の日本語学習ひいては外国人支援体制の方向性が見いだせたこと、また地域の核の作成になったことなど、意義深い経験を得る機会となった。

●三木市国際交流協会からは以下のコメントが届いている。

講座ごとにバリエーションに富み、毎回新鮮な気持ちで受講できました。

今まで、本に沿って学習者にレッスンをしてきた支援者にとっては「目からウロコ」の日本語教授法でした。学習者のニーズを知った上でのレッスン展開のノウハウを習得できた受講生は、教材作成にも力が入っていました。

実際に支援されている方々によるケーススタディでは、ともすると「教えてあげているのに、どうして・・・」などと思いがちなボランティア支援者の立場を見つめ直す良い機会となりました。

自ら作成した教案を基に行なった演習では、冷や汗をかきながらも教える姿勢を体験し、その熱意が学習者に伝わって学習意欲も高まり、現在のレッスンが潤滑に行なわれるようになりました。

③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

三木国際交流協会との連携がうまくいって、その地域のボランティア教室に変化が現れた。この経験を生かして他の地域においても同様の活動を続けていくことを考えたい。日本語ボランティア教室で、何が目的とされ、何が必要かを認識したうえで支援体制を共に考える形の講座を、今後も続けて行きたい。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携

・JSL 教室

JSL 教室講師による講義により、子どもの日本語学習への対応が学べた。今後子どもの学習者が増えた場合にはこの経験が生きるはずである。

・多文化共生センター

在留外国人の背景を学んだことにより、求められているものが言葉を教えるだけのボランティアではなく、生活支援を含んだものであることを考える視点を得た。

② 研修後の人材活用

・講座受講者が核になって自分たちの目指す教室運営を行っていくこと。

そして新しくボランティアを始める人へ得た考え方を伝えていく役目を担う。

(12) 今後の課題

今回とり上げたのは初級の教え方だったが、国籍によっては中級以上、職業に直接結びつく能力の養成も求められている。今後は日常生活ができるレベルを目指すことから進んで、仕事に結びつくまでの指導ができることも必要になる。学習者をこのような形で継続的に見ていけるか、が問題になるだろう。

またこの地域には年少者の学習者も多い。日常会話ではなく、学習言語が使えるようになるような体制にもっていくには、専門の日本語教師が出向いて行うような講座が有効だと思われる。

日本語ボランティア（経験者）のための

スキルアップ講座

文化庁平成 22 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

日本語の教え方をもっとスキルアップしたい方、今の教え方でいいのか迷っている方、
新しい試みの講座が開かれます。

1. 講座で考え方を学ぶ、演習もしてみる。（入門、初級前半レベルの教え方）
2. 講師の授業を見学する。そして、講師のアドバイスを受けつつ、授業を体験する。
3. さまざまなレベル、ニーズに対する教え方について講師のアドバイスを受ける。
（於：三木市国際交流協会日本語教室）
4. 最後に、講座を受けて工夫したことを共有する。

このように、あなたが充実した日本語ボランティアができるよう、お手伝いします。

日程：1	講義・演習	6／8～7／20	毎週火曜日 1 時～4 時
2	見学・実習	7／26 8／2, 9, 23, 30、	毎週月曜日 7 時～9 時
3	教室活動アドバイス	9／13, 27	毎週月曜日 6 時半～9 時
	総括・修了式	10／5（火）	1 時～4 時
		以上全 15 回	

受講料は無料

『みんなの日本語初級 I』スリーエーネットワーク編
（ISBN 978-4-88319-102-4）をご持参ください。

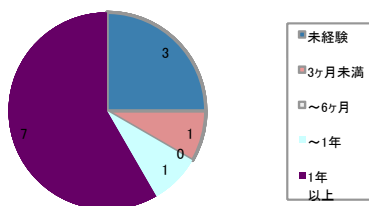
神戸YWCA、三木市国際交流協会

三木市日本語ボランティアのためのスキルアップ講座(受講者アンケート)
文化庁平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

1. 日本語ボランティア歴について

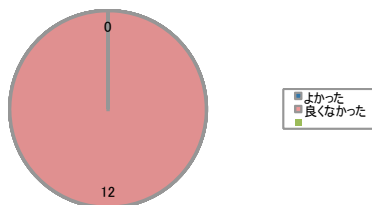
カテゴリ	未経験	3ヶ月未満	～6ヶ月	～1年	1年以上	合計
人	3	1	0	1	7	12
%	25.0	8.3	0.0	8.3	58.3	100.0

※ 1年以上・・・～3年未満(2)、～5年未満(2)、5年以上(3)



2. 開講時期について

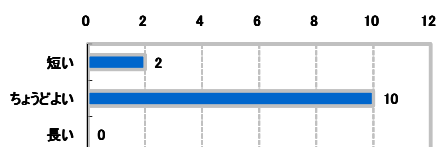
カテゴリ	よかった	良くなかった	合計
人	12	0	12
%	100.0	0.0	100.0



3. 開講期間について

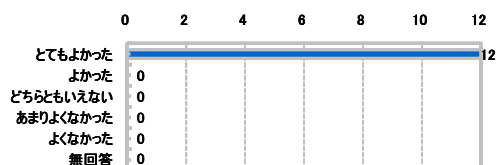
カテゴリ	長い	ちょうどよい	短い	合計
人	0	10	2	12
%	0.0	83.3	16.7	100.0

※ 「長い」「短い」と答えた方について、どのくらいの期間がよかったですか。・・・3ヶ月程度(2人)



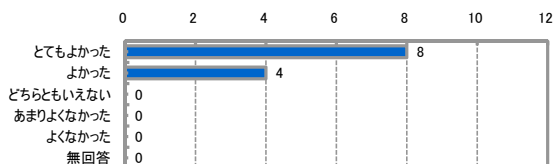
4-1. 指導法の講義について

カテゴリ	とてもよかった	よかった	どちらともいえない	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	合計
人	12	0	0	0	0	0	12
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0



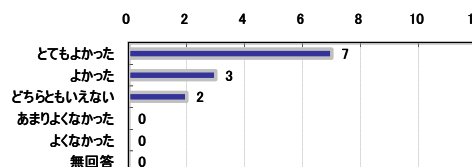
4-2. 「ティーチン」について

カテゴリ	とてもよかった	よかった	どちらともいえない	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	合計
人	8	4	0	0	0	0	12
%	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0



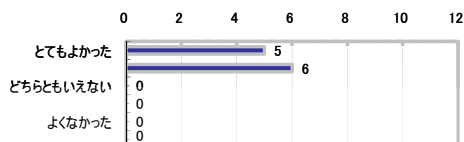
4-3. 「子ども日本語の教え方」について

カテゴリ	とてもよかった	よかった	どちらともいえない	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	合計
人	7	3	2	0	0	0	12
%	58.3	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0



4-4. 「在留外国人の背景」について

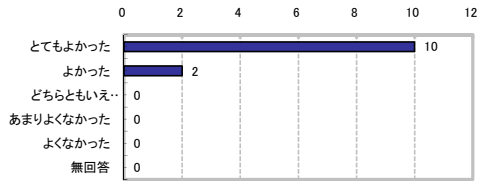
カテゴリ	とてもよかった	よかった	どちらともいえない	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	合計
人	5	6	0	0	0	0	11
%	41.7	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	91.7



三木市日本語ボランティアのためのスキルアップ講座(受講者アンケート)
文化庁平成22年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

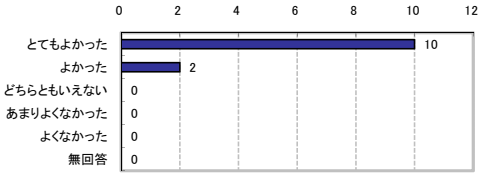
4-5. 「演習」(7月～8月)について

カテゴリ	とてもよかった	よかった	どちらともいえない	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	合計
人	10	2	0	0	0	0	12
%	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0



4-6. 「教室活動」(9月)について

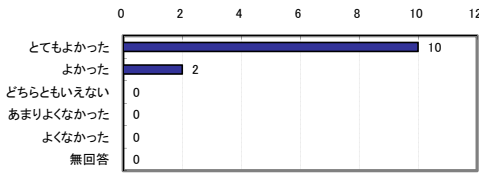
カテゴリ	とてもよかった	よかった	どちらともいえない	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	合計
人	10	2	0	0	0	0	12
%	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0



5. この講座はボランティアをする上で役に立ちましたか？

カテゴリ	とてもよかった	よかった	どちらともいえない	あまりよくなかった	よくなかった	無回答	合計
人	10	2	0	0	0	0	12
%	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

- ※具体的にどんな点で役に立ったか
- ・教え方が変わった
 - ・教案の作り方、授業の進め方
 - ・学習者と自信を持てかわれるようになった
 - ・テキストの内容を自分で消化し、教材を効率よく使えるようになった
 - ・学習者との心の交流のもとに会話が成立することを知った
 - ・対話を重点的に行う方法

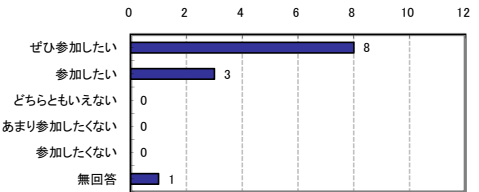


6. 今後どのような講義、演習があればよいと思われますか

- ・教案を作って授業を進めるやり方
- ・教科書中心でなく、会話中心で授業を進めるやり方
- ・「みんなの日本語Ⅱ」の講義、演習
- ・ゼロ初級の学習者に対する教え方
- ・日本語文法についての講義
- ・中級レベルの講習

7. 今後このような講座があれば、また参加したいですか？

カテゴリ	ぜひ参加したい	参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	参加したくない	無回答	合計
人	8	3	0	0	0	1	12
%	66.7	25.0	0.0	0.0	0.0	8.3	100.0



8. その他の意見・感想

- ・「新しいボランティア」の方法が芽生えた
- ・来年度もしてほしい
- ・親しく接していただいて感謝している
- ・学習者とともに、自分も日本語を再確認できた
- ・日本語の教授法を体系的に習得することができた
- ・講師の実際の授業を見ることができ参考になった
- ・教案作り、実習がよい経験となった
- ・実習へのアドバイスがもらえたのは、とても参考になった
- ・レベルアップができた
- ・授業に工夫が大切なことがわかった